

鼠径ヘルニアの手術を受けられる患者様へ

患者氏名:		主治医:		担当医:		受持看護師:							
月日(日時)		／		／		／							
経過(病日等)		入院日(手術前日)		手術当日(手術前)		手術当日(手術後)		手術後1日目		手術後2日目		手術後3日目(退院日)	
達成目標		・手術について理解し、同意している。 ・手術に向けての準備が整っている。		・麻酔の副作用・合併症がなく経過する(麻痺、頭痛、出血)。 ・創痛がコントロールできる。		・創痛がコントロールできる。		・創痛がコントロールでき歩行できる。 ・創部の腫脹や発赤がない。 ・退院後の生活について理解できる。					
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ		・()時に下剤の内服があります。		・手術30分前から準備を始めます ・内服は別途指示があります。 手術の開始時間は()時頃で		・点滴が続いてあります。点滴が終了後、針を抜きます。 ・痛みがある時はお知らせください。痛み止めの点滴、坐薬を使用します。主治医の許可が出たら痛み止めと胃薬の内服が出来ます。							
処置		・お臍の処置を看護師が行います		・手術室にて必要時腹部の除毛を行います				・傷口の観察をします。					
検査								・血液検査をします。					
活動・安静度		・制限はありません。		・()時頃から手術の準備をします。		・手術後はベッド上安静となります。 ・手術後3時間後に主治医の許可が出たら、歩行できます。最初はふらつくことがあるので、看護師が付き添い歩行をします。		・制限はありません。					
食事		・夕食後()時から絶食となります。		・朝から絶食です ・水分は()時まで飲めます。		・主治医の許可が出たら、飲水が出来ます。 ・夕から食事が始まります。(午後の手術の時は翌朝から始まります)							
清潔		・お臍の処置を行った後にシャワーに入ってください		・病棟で手術着に更衣をします。				・温かいタオルをお渡しします。		・主治医の許可が出れば、防水テープで保護してシャワーをすることができます。			
排泄		・医師の指示により下剤の内服がある場合があります				・主治医の許可が出るまではベッド上での排泄となります(尿が出ない時は一時的に管を入れて導尿することがあります)。 ・歩行の許可が出たらトイレに行けます。							
患者様及びご家族への説明・生活指導・リハビリ指導・栄養指導・服薬指導		・主治医から入院診療計画書・手術の説明をします。 ・麻酔科医が麻酔についての節眼をします ・看護師から入院生活の説明をします。 ・手術に必要な寝衣1着、バスタオル1枚、テープ式おむつ1枚の準備をお願いします。		・手術中は家族のどなたかが待合室、または病室でお待ちください。 ・手術時間は前後の手術の関係上、多少変更することがありますが、その都度、お伝えします。 		・手術後、主治医からご家族に手術の説明があります。		《退院後の生活について》 ・パンフレットをお渡しして説明いたします ・創部が腫れたり、発赤が強くなるようでしたら外来を受診してください。 ・入浴は主治医の許可が出てから行ってください ・日常生活上の注意点として、ヘルニアの再脱出予防のために腹圧を避けるような生活を心がけてください(詳しい内容はパンフレットに記載してあります)。 					

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。